

## 出展者(グループ)紹介

### NPO法人ふれあい広場「コスモス」

あの日から5年の月日が流れ、また3・11を迎える。そして「集中復興期間」から「復興創生期間」へとことばは進む。読み返してみる「つなみ」、被災地の子どもたちの作文集、涙が止まらない。「本当にみんなが笑える日」は何時、復興は十分捗っていますか？新しい普通の日常はきましたか？いつも人の気持ちの分かる優しさを持ちたい、ともに響き、喜び、悲しみ、怒り、苦しむ気持ちに。



### 吉川みかと常総絵手紙の会

9月10日の大雨による鬼怒川の堤防決壊で、常総市の1/3が浸水しました。常総地区の絵手紙教室のメンバーも被害に遭いました。自衛隊に救助された人、泥水に浸かりながら避難した人、自宅2階で夜を明かした人…。そして、仲間たちの元を何度も回ってくれた人。応援してくれた全国の仲間たち。絵手紙の力で立ち上がりつつある、常総絵手紙の会からの発信です。



### 宮脇泰彦

絵手紙には、たくさん心の栄養があると思います。そんな喜びとうれしさの栄養を皆様と共に共有し、絵手紙のやり取りを通して共に学び、共に気づきを深め、いくつになっても共に成長して生きたいと思っています。感謝の心・素直な心・謙虚な心を大切に、より心豊かな日々を重ねて生きたいとおもっています。



### 絵手紙でボランティア 蟻灯の会

蟻灯の会は、笑顔、会釈、ありがとうを合言葉に活動して参りました。今迄のフェスティバル出展は、見て聞いて感じた事を表現して来ましたが、今回は、宮古、釜石、山田、陸前高田、野田の沿岸絵手紙サークルの皆様を頂き復興進む今の声をお届けします。



### 松尾ちよ子と中野の仲間たち

絵手紙によって育てられた私たちの手。一番身近な道具でもある手は、差し出す手、すくう手、握りしめる手、合掌する手など様々な表情で私たちの心をうつしだします。自分の手と大切な人との手を重ねあわせ、握りあい、想いをつなぎながら14人でかきました。



### 森千景と木の花会の仲間たち

遊び心いっぱいの自由な絵手紙交流をはじめて25年程になりました。出会えたすべてに感謝でいっぱいです。今回は各教室のお仲間たちと「お雛様で母へのお便り」を主なテーマに描いています。「土佐和紙」巻紙で母への思いが届きますように。



### 植木啓子絵手紙教室

「絵手紙は自由でいい」の言葉に励まされ続けているこより絵。今年は生々とした躍動感に溢れる瓦当の生きものたちを新聞紙のこよりで表現し、拓をとって巻紙で発信です。又、教室の仲間たちのこより絵手紙も展示いたします。絵手紙の楽しさ伝えられたら幸いです。



### 絵手紙のむら・栄村

栄村に絵手紙タイムカプセル館が開館して今年で10年。地元の絵手紙グループ「芽吹き」の会」と協力しあって絵手紙の普及や村の観光PRなどにも力を注いできました。2011年には大きな震災で被災しましたが、多くの人の応援を支えに、元気を取り戻すことができました。この小さな村から絵手紙の持つ力のすばらしさを、発信できればと願っています。



### 清野章子・森下百合香

墨色に魅せられて何度心を動かされたことでしょうか。こんなにも澄んだ美しい世界があるなんて…墨は手強い。未熟な私に思うように応えてくれません。いつの日かきっと、を夢見て墨と戯れ中の日々です。



### 小野寺がく

気仙沼から、3.11午前中日付の絵手紙。筆も墨も顔彩も流され、ボールペンだけの字手紙。紙すら無く、牛乳パックにも書いた。避難所生活で、心の支えに絵手紙を描いた。サークルで申し合わせ、「自分史として読まれる事も、出すことも考えず描かれた絵手紙」もご覧いただけます。



### 絵手紙シールぺたんネッ人

第7回 絵手紙シールのご支援ありがとうございます。11月岩手県大釜へ伺い、子ども夢ハウス、仮設の集会所、公民館、ケアセンターで「はじめての絵手紙」は大好評。笑顔の交流でした。絵手紙用具を今後につなげての思いで四ヶ所にプレゼント。ラグビーワールドカップ釜石「かだっべし」と交流。写真等で現地報告いたします。



### 峯譽「熱い国から熱い絵手紙なかま」

世界中どこへでも自由に飛んでいく絵手紙。「ことば」はみんなを元気にする健康食品。食欲増進「味の素」その思いの味が詰まった絵手紙、ブラジル、マレーシアの仲間と一緒に参加させて頂きました。そして鳥獣戯画を消ゴム印で表現。集中が要求される線の練習にひと筆描きの集中です。



### 岡本サヨ子と藤井辰子

2013年9月より版画の交流が始まりました。辰子さんは木版画、私は彩玉ボード版画です。辰子さんは自分の遊びの中の生活観あふれた味のある作品で毎回楽しみです。私の物は風景スケッチが多く、正しい技法で彫っている訳でもありません。自由に楽しんで流れついた作品です。



### 香川道子・ろまんのか

個々がひびき合いながらドキドキ、ワクワク感をたいせつに、明るく楽しもうと集まりました。想いを伝えることをたいせつにしております。



### 栗原利雄(絵手紙花の会)

「倒れて生きて20年」平成7年11月、脳出血で倒れ右半身麻痺に。リハビリの一環として絵手紙、墨彩画に挑戦。左手で絵を描くことに楽しさを知りました。身体に残された機能を生かし、前向きに努力、精進すれば新たな可能性が発見出来ると感じました。…そして今、絵手紙自由人として歩んでいます。



### 鈴木啓子

栃木のあの日からテレビからながれる眼を覆いたくなる東北被災地の様子…。あれからもうすぐ5年になりますね。栃木県でも被害が沢山ありました。知人宅は築5年の家が半壊でした。当時のメールやあの日の動きをかきました。忘れてはならないあの日です。



### いち語いち絵の会(代表 箕浦尚美)

絵手紙教室を始めて17年。新米講師だった私を育てて下さったのは、姉のような母のような生徒の皆様でした。人生の蓄積の深さや豊かさは、いつも私を応援し導いて下さいました。出会いに感謝し、「一人に一日」大切なお誕生日をお祝いしたく、絵手紙を送りました。返信頂いた絵手紙と合わせ心の交流を是非ご覧ください。



# 絵手紙 フェスティバル 2016

～絵手紙には十人十色の楽しみ方がある～

(前期) 2016年2月2日(火)~9日(火)

(後期) 2016年2月22日(月)~29日(月)

(時間) 10:30~17:30 ※会期中無休・入場無料

会場・主催 大崎ウエストギャラリー

2010年、2月3日が「絵手紙の日」に制定され、記念日協会に登録されたことを記念してスタートした絵手紙フェスティバルも7回目をむかえました。

毎年さまざまな愛好家のみなさんにご出展いただき、年に1度のイベントを盛り上げていただいております。

2016年は3月で東日本大震災から丸5年をむかえるにあたり、後期展の展示の一部に、その記憶を風化させないため、主に東北三県(岩手・宮城・福島)にお住まいの絵手紙人、ボランティア関連、応援絵手紙などをテーマにした展示や活動報告などを考えております。

主催者

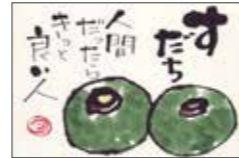
# ELEGAMI FESTIVAL 2016

(前期) 2016年2月2日(火)~9日(火)

## 出展者(グループ)紹介

### 林典子

やりたいことをやって、行きたいところに行って、会いたい人に出会って、そして描きたい時に描いて。これからも生きていきたいと思っています。絵手紙に出会ってほんとうによかったです。



### 柿沼佑子と配食絵手紙の会

平成11年、社協ボランティア配食サービス絵手紙の会として発足。お弁当に絵手紙を付け書く人、届ける人、すべて会員で行う独特の会でしたが時の流れと共にシステムも変り、現在は配食絵手紙の会と名称がかわりました。今回は今までの活動、そして続けている張り子の干支製作風景などを展示します。和の心を大切に今は絵手紙を楽しむ会となりました。



### 北川長一郎

2016年は絵手紙をはじめ15年目になります。ブログ『赤鬼と青鬼のダンゴ〜絵手紙のある暮らし』にほぼ毎日絵手紙をアップして12周年になります。ざっと4000枚以上の絵手紙を夫婦で描き続けてきました。こつこつ描き続けていくこと、その小さな積み重ねが僕の誇りです。



### 浅田美知子

未だ何もかも途中、途中なれば厳しくもあり、気が楽でもあり。筆学びの途中、人間鍛えの途中、夢探し、宝探しの途中、愛する途中、愛される途中、どこまで続くかわからない道をとぼとぼ歩いている途中なのです。途中は終わりにくく永遠なのです。



### 地球・絵手紙クラブ

平素は「手紙」としての絵手紙を描いていますが、今回は絵手紙の応用として「絵手紙双六」を作成しました。38名の有志が8チームになり、各々テーマを決め、絵手紙を組合せて双六を作りました。



### 津島民子

北国の四季は変化があって面白い。巡る季節は一緒でも、自然、人々との出会いは毎年違います。その変化を書き残す絵手紙の楽しさ。こんな楽しい世界をもっと多くの人に伝えたいですね。この一つ道を歩いて思うことは絵手紙で出会った人々との長い繋がりに心からありがとうを伝えたい。これからもよろしくね。



### 伊勢「い・い・とも会」

「エライことやに、伊勢志摩サミットがあるんやって」「そんなら私らも何かしよか」2年前、式年遷宮に沸いたこの地に再び元気を!!と盛り上がった自称伊勢の3人娘。せっかくだから伊勢志摩の素晴らしさを知ってもらおう、とかいた絵手紙はなんと、各国首脳宛て。3人の小さな絵手紙外交(?)を皆さん「見たってな!」



### 中井桂子

ボローニャの煉瓦色の中世の建物に囲まれたマッジョーレ広場は、人で溢れていた。しかし早朝の広場は静かで全紙を思い切り広げてかいた。絵手紙は自分磨きの旅だと思ふ。その旅は絵と文と字の3つで表現する。どんなにしんどくても、無茶苦茶でもかいたものは残る。それがたまたま風景となって表れる。これが絵手紙の魅力。



### 浅倉須眞子

ある人と話している時「いつの時代でも人間がおもしろい」とポツリとつぶやかれたのです。一寸したことから車中で人をスケッチしはじめて今日も描かせてもらっている自分に気づく時があります。大昔の人たちも今の人達も同じような生活をしているのが面白いなど改めて感じる今日この頃です。



### 阪本里美と絵手紙教室のみなさん

小池邦夫先生の絵手紙精神から私達はたくさんの幸せを頂きました。新しい人は1年から、長い人は18年までの人達が「笑顔で楽しい」をモットーに。又、楽しさだけではなく奥深い筆墨の世界に目覚め更に新しい墨色の美しさを見つけ出そうとしています。今回は円空仏、木喰仏の対照的な美に墨色で学び、そこから感じる言葉も楽しみました。



### 江口春畝

6人のメンバーで「消しゴムはんこのアイデア教室」をさせていただくようになって3年。消しゴムの彫り方や表現技法等、毎回さまざまな方々が受講して下さり、楽しく活気ある教室となっています。今回は彩玉ボードの十二支絵馬とカラフルなステンドペーパーアートの世界をお楽しみ下さい。



### 今井洋子と歩き続けた仲間達

優しさ、温かさ、人に元気をくれる不思議な力を与える絵手紙こそ、自ら出合いを求めて動く事のできない人達に必要なのでは?と平成8年から身障者の方達と絵手紙の道を歩いてきました。不自由な身体で心いっぱいにかいた絵手紙は御覧下さる皆様には何かのヒントをくれるのではないのでしょうか。



### 渡邊百合江と高橋喜美子展

絵手紙との邂逅に感謝してます。継続に伴い奥深い芸術性を感じ、人間性を陶冶しています。私達は絵手紙を夢中に描いている時が至福です。今回はこの喜びを披露します。ヘタ故に真心を伝えます。ご笑覧頂けると幸甚です。



### 徳勝弘江

紙版画は葉脈を乾拓でとったことから始まりました。そして瓦當や画像磚を知り、拓をとったような表現をしたくなり、紙で凹凸をつくれればいいのではと思いつきました。遊びごころでやったことです。捨てる紙も利用して切って貼ってを楽しんでいます。



### 新堂みどり

今年で20年、続ける程深いと感じるこの頃です。15年目に「ほんわか絵手紙」を、昨年「猫の絵手紙」を出版しました。わくわくと前向きがテーマです。絵・文字・言葉に気持ちに乗せて、上手く表現できないけれど素直な気持ちを研ぎ澄まし、一所懸命頑張ります。フェスティバルは大きな刺激、次へのスタートです。



### 沖紅千

絵手紙に押し落款印づくりから始めた消しゴム印。石や木を彫るより簡単に彫れ、いつの間にか遊印の虜になってしまいました。今では大きな作品をアートさせて作るのが一番の楽しみです。今回は古代アメリカ(マヤ文明)の面白さを遊印で表現してみました。



### 竹内伸子教室@上野

「筆墨でかく動物」ふだんは鉛筆やマジックで動物をスケッチしますが今回は筆で、少し大きな紙にかいてみました。動物園で筆を持つのは、なかなか勇気がいると思いますが変化に富む線の魅力を再発見するひと時でした。



### 主催者からのお願い

毎年、絵手紙フェスティバルに遠方からもたくさんのお客様にご来場いただき誠にありがとうございます。

今回も、特に平日の午前中を中心に大変な混雑が予想されます。お時間に余裕のあるかは、お昼以降にお越しいただけますと、比較的ゆっくりにお買い物もお楽しみいただけるかと思っておりますので協力をお願いいたします。

また、開催期間中は講習会スペースを交流会場として一般開放しております。簡単ではございますが、お飲物(セルフサービス)もご用意しております。出展者やお友達とのご歓談などにご利用いただけましたら幸いです。

皆様のご来場をお待ちしております。

※今回は『絵手紙フェスティバル記念集』の販売はございません。



〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-7 パークハイツ大崎 3F(JR山手線大崎駅徒歩1分)  
TEL 03-3490-4177 / FAX 03-3490-3358 URL http://www.space-gallery.net